

## 平成28年度 学校評価実施報告書

幼稚園名( 京都市立明徳幼稚園 )

## 1 1回目評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施</li> <li>・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定</li> </ul>			
	評価項目	(前年度評価を踏まえた) 年度末までの取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・各種指標
確かな学力・豊かな心・健やかな体	保育の改善・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びが充実するための環境構成や援助の検討・実践。</li> <li>・週案の充実、評価を生かした有効な活用と積み重ね</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の心の動きをとらえた事例研究。</li> <li>・「子どもは自分で好きな遊びを見つけていますか」</li> </ul>
幼小接続の視点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「親子絵本ノート」の活用の見直し絵を含めた有効な利用。</li> <li>・小学校との交流や連絡会の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「親子絵本ノート」の活用度を定期的に検証する。</li> <li>・「絵本を見ることを楽しんでいますか」</li> </ul>
心と体・生活習慣		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携しながら、個々に応じた援助をし、生活習慣の定着を図る。</li> <li>・体を動かす心地よさを感じるような保育を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の週案への明記。</li> <li>・運動遊びを保育に取り入れる。</li> <li>・生活習慣の家庭での様子のアンケート</li> </ul>
信頼関係・折り合い・自己肯定感		<ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼関係を基盤とした自己有用感。</li> <li>・発達に応じた葛藤体験。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園に喜んで登園しているか。安心して、生活しているか。</li> <li>・友達と遊ぶことを喜んでいるか。</li> </ul>
園独自の項目	学校運営協議会「どんぐりーす」のさらなる活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園行事・保育の流れとの兼ね合いを考えた年間計画の立案と有効な運用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校運営協議会“どんぐりーす”との連携した幼稚園の行事に喜んで参加していますか。」</li> <li>・地域との連携の推進。</li> </ul>
子育て支援の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談の取組の充実。</li> <li>・地域の子育て支援センターとしての役割の充実と情報発信。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほっこり子育て広場の実施回数(在園児)</li> <li>・教育相談の参加人数。</li> </ul>
預かり保育の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の作成・見直し</li> <li>・参加人数。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録等による連携。</li> <li>・「喜んで参加していますか」</li> <li>・保護者が「有効に活用できているか」</li> </ul>



・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	
	評価日	平成28年10月24日
評価者・組織	教職員	
アンケート結果・各種指標結果	分析 (成果と課題)	分析を踏まえた改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもが好きな遊びを見つけている」については、年長・年少とも「そう思う」「大体そう思う」で100%になる。</li> <li>・「親子で絵本を見ることを楽しんでいるか」の、「楽しんでいる」が、「そう思う」「大体そう思う」で年長96%、年少97%である。</li> <li>・生活習慣で「自分のことは自分でしようとする」については「そう思う」「大体そう思う」が、年長96%、年少89%であった。</li> <li>・アンケートとしては年少が「友達と遊ぶことを喜んでいるか」としては「そう思う」「大体そう思う」100%で、年長は「友達の思いをこうして遊んでいるか」で96%であった。</li> <li>・教育相談の実施回数を年度途中で増やすことで、より子育て支援を充実させようとしているところである。年度当初の参加人数は昨年度より少ないが、情報発信は広げている。</li> <li>・アンケートによる結果は、「そう思う」「大体そう思う」が、年長100%、年少94%であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的な環境、意図的な環境について意識的に入っている。そのことで好きな遊びを楽しむ姿につながっているのであろう。</li> <li>・「親子絵本ノート」は、活用されており、子どもの思いを聞きながら親子でゆったりと絵本を選ばれている姿もある。有効に活用されているかの検証が十分ではない。</li> <li>・発達年齢に応じて、自分の身の回りの始末や生活习惯が身につくような環境を考えたり、家庭とも連携し、必要な手立てや援助を探していく。</li> <li>・友達とのかかわりについて、さらなる育ちのためには、保育の様々な場面での事例研究、検証を今後も引き続き深めていく必要がある。</li> <li>・様々な体験による保育に、喜んで参加して肯定的にとらえていたい。保育の流れとの兼ね合いを十分検討しながら入れていく必要がある。</li> <li>・ホームページでの発信のほかに、地域への直接的な発信など、より関心をもつてもらえるよう方策を検討する。</li> <li>・子どもたちの喜んで参加している。保護者にとっても有効である。1か月単位の申し込みがしにくい方がある。保育とのつながりを生かすための担任との連携が課題である。</li> </ul>	

学校関係者評価	
評価日	
評価者 (いざれかに○)	○学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しんで園生活を送っている様子が見られる。</li> <li>・「親子絵本ノート」の取り組みは大切だと思う。より充実させてほしい。</li> <li>・家庭生活での子育ての意識を高めていくことも大事である。</li> <li>・幼稚園が家庭との連携を深めてほしい。</li> <li>・地域でも協力できることはていきたい。</li> <li>・運営協議会による様々な行事に喜んで参加していただき喜ばしい。</li> <li>・参加者数は減っていることには憂慮する。方策を考える必要がある。</li> <li>・就労支援もあり大変だろうが、子どもも保護者も喜んで参加してもらっていることは有意義である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会としてできることがあれば積極的に取り入れていく。今後具体的に検討していく必要がある。</li> <li>・さらに充実してけるよう協力してきたい。</li> </ul>

# 平成28年度 学校評価実施報告書

幼稚園名( 京都市立明徳幼稚園 )

## 2 2回目評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施</li> <li>・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定</li> </ul>				<p>自己評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価日</th><th>評価者・組織</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アンケート結果・各種指標結果</td><td>分析(成果と課題)</td></tr> </tbody> </table>	評価日	評価者・組織	アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	<p>学校関係者評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価日</th><th>評価者(いざれかに○)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○学校運営協議会 学校評議員</td><td>学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策</td></tr> </tbody> </table>	評価日	評価者(いざれかに○)	○学校運営協議会 学校評議員	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
評価日	評価者・組織												
アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)												
評価日	評価者(いざれかに○)												
○学校運営協議会 学校評議員	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策												
評価項目	(1回目評価を踏まえた) 年度末までの取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・各種指標	・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理										
確かな学力・豊かな心・健やかな体	保育の改善・充実 幼小接続の視点 心と体・生活習慣 信頼関係・折り合い・自己肯定感	園独自の項目	<p>園内研究から協議を深め、まとめていく中で、具体的なキーワードを見出し、保育の見直しに生かしていく。</p> <p>「親子読書ノート」の活用を推奨し、定期的に利用状況を確認する。今年度の交流を明確なねらいのもと進めていく。</p> <p>家庭との連携をより密に図り、子どもが自分でできるようになったことなど共有していく。</p> <p>子どもの気持ちの寄り添い、自己発揮でき、自信となる援助、友達とのかかわりの中での心の葛藤などをみとめていく。</p> <p>学校運営協議会や地域との連携を、幼稚園の行事に取り入れ協力してもらう。</p> <p>・ひよこ組の回数や時間の見直し・園庭開放の継続 ・子育て支援から入園する園児数の把握 ・ほっこり子育て広場の継続</p> <p>・内容の充実、冬季の季節感のある遊びを取り入れる。 ・利用のにおいて変更の手続きの定着を図る。</p>	<p>「ありのままを出して遊んでいる」「自分なりのイメージを膨らませて遊ぶことを楽しんでいる」等</p> <p>「親子読書ノートは活用できているか」「小学校・中学校と連携や交流を図っている」</p> <p>「ご家庭では生活習慣の確立や自立に向けて意識しながらかかわっているか」</p> <p>「子どもは学級や学年の友達と遊ぶことを楽しんでいる」「担任以外の教職員にもサポートしてもらっている」</p> <p>「子どもは学校運営協議会や地域と連携した行事を楽しんでいた」</p> <p>子育て支援、たまご組・ひよこ組の登録者数・入園者数の確認。</p> <p>「参加者数」 ・アンケート「預かり保育は保護者にとって有用であったか」「子どもにとって有効であったか」</p>	<p>年少児・年長児とも100%「そう思う」「大体そう思う」となっていた。</p> <p>「親子読書ノート」の活用については、ほとんどの方が活用できている年少児97%に比べ年長児は73%にとどまる。、</p> <p>年長児は100%、年少児は96%が「そう思う」「大体そう思う」となっていた。</p> <p>年少児・年長児とも100%「そう思う」「大体そう思う」となっていた。</p> <p>年長児は100%「そう思う」「大体そう思う」となっていた。</p> <p>年少児は96%であった。</p> <p>ひよこ組からの入園は、転居以外は100%。他施設からも就園があるが、もともとの登録者数が少なかったため園児数が減少する。</p> <p>年長児は100%「そう思う」「大体そう思う」となっていた。</p> <p>年少児は96%であった。</p>	<p>子どもの興味関心、主体性を大切にした、子どもの心に寄り添った保育についての理解が得られているのであろう。</p> <p>年長児は昨年度「親子読書ノート」の活用をせず、今年度から毎週絵本貸し出しに利用を始めていたので、利用の定着度が低かったと思われる。</p> <p>年長児は、就学を前にして、各家庭でもかなり生活習慣の自立に意識してかかわっておられることがうかがえた。年少児も進級を前に子どもも意識していると思われる。</p> <p>年長児・年少児とも年度の後期になって友達とのかかわり方あ広がったり深まっている。子どもたちが友達と過ごす楽しさを十分感じているからであろう。</p> <p>年長児は、運営協議会の行事お茶会・ころろさんとの読み聞かせなどすべての行事にかかわっている。年少児はお茶会へのかかわりが1回だけであるから思われる。</p> <p>・情報発信を確実にし、たまご組をより充実させる必要がある。</p> <p>・冬季ならではの、教育時間には経験できないような遊びを取り入れることにより、子どもも保護者も満足していた。 ・変更方法についてもほぼ定着した。</p>	<p>研究テーマを分析まとめることにより、教師の援助や環境構成の見直し保育の充実につなげていこう。</p> <p>年長児には、親子読書の大切さを伝えるとともに、年少児には引き続き意欲的に取り組めるよう意義を伝えたい。</p> <p>家庭との連携を密に図り、子どもの育ちを共有したり、ともに手だてを考えたりする。</p> <p>一人一人を大切にし、友達とかかわりながら葛藤経験や折り合う心の育ちを促すようかかわっていきたい。</p> <p>運営協議会の組織が一般的の保護者にはわかりにくい部分がある。整理し部会の組織改編も検討する。</p> <p>・冬季ならではの、教育時間には経験できないような遊びを取り入れることにより、子どもも保護者も満足していた。 ・変更方法についてもほぼ定着した。</p>	<p>子どもたちがいつも生き生きとした姿が見られてうれしい。</p> <p>「親子読書ノート」の取り組みは大切だともうので積極的に活用できればよいと思う。</p> <p>生活習慣は自立するうえで大切である。しっかり身に着けていてほしい。</p> <p>集団での育ちの大きさを感じる。</p> <p>運営協議会が有効に活用でき喜ばしい。組織については園でより有効に機能できるように検討を望む。</p> <p>園児数の減少には憂慮する。施設面でも改善する必要がある。</p> <p>預かり保育が有効に利用されていることは喜ばしい。</p>					

## 3 総括・次年度の課題

- ・保育の充実を図るために次年度さらに研究を充実していきたい。
- ・立地を生かし、幼小連携をさらに進め、幼稚園の教育について理解が深まるよう可視化し、発信していき接続期の教育を充実させていきたい。
- ・ホームページの交信の頻度を増やし、情報発信を充実させ、公立幼稚園の良さをアピールしていきたい。
- ・就労支援をする中での園運営について、PTAの在り方について検討する必要がある。
- ・学校運営協議会の協力をさらに有用なものにしていきたい。